

教科（科目）	美術	学年（系）	1年
使用教科書	美術1（日本文教出版）		
副教材等			

1 学習目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 指導の重点

自然や身近な物をよく観察し、美しさや特徴を捉える力を身につける。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	色彩	・不透明水彩	・不透明水彩の特徴を理解する。 ・混色・グラデーションの練習。	3	・作品を提出。 (知識理解 / 技能)
5	葉っぱのデザイン	・葉の参考プリント	・葉を単純化したり変形させたりして独創的なデザインを考える。 ・対称や連続や対角線などの配置を考えて画面構成する。 ・4月に練習した技法で不透明水彩を使って作品を仕上げる。	17	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
6					
7					
9					
10	にじみ・ぼかし	・透明水彩 ・参考プリント	・プリントに描かれた動植物の絵を画用紙にカーボン紙で転写し、画面構成する。 ・水を多く使った絵具の色が広がったり混ざったりする表現を目指す。	15	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
11					
12					
1					
2	想像の積み木	・折り紙	・積み木をイメージした立体的なデザインを描く。 ・切り抜いた折り紙を画用紙に貼り、積み木の貼り絵を作る。	10	・作品を提出。 (知識理解 / 技能 / 創意工夫)
3					

計 45 時間(48分授業)

4 課題・提出物等

授業で制作した物、指示があった物は必ず提出してください。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価基準
対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて表現方法を工夫して表している。	自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	＜評定＞ 各観点の合計点達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
以上の観点の他に ・授業の態度 ・作品作りの進捗 ・授業ごとの提出物 ・忘れ物 ・練習課題 ・作品 ・作品のデザイン、作る上での丁寧さや工夫 を踏まえ、総合的に評価します。			

6 担当者からの一言

日頃、物の形や色などの特徴に目を向けてみましょう。